

TQ-8500 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東急8500系とその譲渡車
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・レンズ覆い : 1枚/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

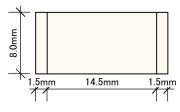


- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する。	
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 側窓を外す	1-4 前面透明パーツを外す	2-1 前面透明パーツの加工	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフ付きの車両は、天井のねじを外して、屋根を外して、パンタグラフを保護します。	側窓を、前面窓との噛み合部をコジって外します。	前面透明パーツを、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。	前面透明パーツ裏側の突起2ヶ所を削り取ります。	
3a. 床板を加工する			3b. 動力ユニットを加工する		
(2-1つづき)		2-2 側窓を加工する	(トレーラー車の場合)		(動力ユニットを組み込む場合)
前面透明パーツを、ヘッドライト上部の丸いモールドの頂点で切断し、切断面を整えます。		側窓前端を、乗務員扉の窓の下側の角に接する45度の線でカットします。	床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。		シート前端の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。
					動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
4. ライトユニットを取り付ける					
4-1 前面窓を取り付ける		4-2 ライトユニットを組み立てる			
前面窓をはめ、両面テープで固定します。		ライトレンズの前面及び側面を銀の塗料で遮光します。光にかざして光漏れがないことを確認します。		レンズ覆いの上側に1.0mm、下側に0.8mmの穴をあけます。ケガキ線の交点にボンチで印を付け、下穴をあけ、徐々に仕上げの大きさに広げます。	
				レンズ覆いを切り出します。上側は1mmの穴の中心で切断します。	
				レンズ覆いを、レンズ裏側の段差に合わせて貼付けます。レンズ覆いとレンズの中心が一致していることを確認してから、少量の瞬間接着剤で固定します。	
5. 配線する					
(4-2つづき)		4-3 ライトユニットを取り付ける		5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る	
ライトユニットを、ライトレンズの裏側に、両面テープで固定します。試験点灯をして、レンズとLEDの軸が一致していることを確認します。		ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。		本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。	
				側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所(ツメ)の上に載せます。	
				側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼り付けます。	

(5-1つづき)	5-2 側窓下をアルミテープで結ぶ	5-3 ライトユニットへ配線する
		
両側窓の前後4箇所を同じように作業します。	3mm×80mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼りつけます。中央のツメは下側を通します。	1.5mm×18mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。
		テールライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。
(5-3つづき)		
	側窓下の通電の確実を期して、3mm×10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
乗務員室仕切り型紙 		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。

TQ-8500 説明書 4.00

2014/04/01 1.00 初版

2014/07/20 2.00 ライトユニットをバージョンアップ

2017/08/25 3.00 製品フォーマット改定に伴う新版

2020/03/10 4.00 ライトユニットをバージョンアップ

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》

イズムワークス・直売所

〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15. 店舗営業はしていません。

phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

